

小野 孝太郎(おの こうたろう)



1969年10月生まれ。神奈川県横浜市出身
笠間市鴻巣在住。友部駅まで徒歩10分
神奈川県立光陵高等学校卒業(バレーボール部)
慶應義塾大学理工学部数理科学科・統計学専攻卒業
慶應義塾大学大学院理工学研究科 修士課程修了
BBT大学大学院 経営管理専攻修了(MBA)

新卒でアメリカの大手IT企業・オラクルの日本支社に入社。1996年よりアメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコ近郊の本社に転勤し、2015年に退職するまでソフトウェアエンジニアとして勤務しました。

40代でフルマラソン、山岳レース、アイアンマン・トライアスロンに挑戦。アイアンマンのレース中に「自分がこの一度きりの人生で本当にやりたいことは何か?」と問い続けたことをきっかけに、教育の重要性を強く感じ、人生の方向を大きく転換しました。

2013年、サンフランシスコ日本語補習校の保護者会会長。2014年には同校講師として小学5年生を担当。2015年にオラクルを退職後、認定NPO法人Teach For Japanのプログラムを通じて、福岡県で小学校教員として勤務しました。

2018年、「コーチング」を残りの人生の事業の一つにすると決めて独立。2023年に株式会社Community For Allを創業し、現在はコーチングやコミュニケーション研修を企業や自治体に提供しています。

2023年11月、笠間藩出身で幕末に「咸臨丸」の航海長としてアメリカに渡った小野友五郎の玄孫という血縁をきっかけに笠間市へ移住。笠間の自然、歴史、人の温かさに触れる中で、このまちのために働きたいという思いを深めてきました。

2026年3月、参政党・笠間市政改革委員に就任。

発行人：小野孝太郎後援会

〒309-1611 笠間市笠間2247-1

まちの駅笠間宿5号棟11番

☎080-2724-5179

✉kotaro.ono@gmail.com



小野孝太郎公式LINE



小野孝太郎instagram

私が街頭に立ち続けている理由

昨年11月から始めた、笠間の街頭でのご挨拶の時間が230時間を超えました。友部駅で45回・93時間。市内各所の交差点で88回・140時間。

私が立ち続けている理由は、

一人でも多くの市民の皆様と、関係性を築きたいからです。

私が大切にしたいのは、

- ① 何でも言い合える関係性
- ② お互いを尊重し合える関係性
- ③ どこかほっとできる関係性です。

私は2023年11月に笠間へ移住しました。家族も近い親戚もおらず、同級生も幼なじみもいません。地域とのつながりは、ほぼゼロからの始まりでした。だからこそ、「あれ? またあの人立っているな」「いつも元気に挨拶しているな」そんなふうに少しずつ知っていただき、信頼を積み重ねていきたいと思い、街頭に立ち続けてきました。

街頭に立つ中で、たくさんのつながりも生まれました。

挨拶を交わすだけだった方が声をかけてくださるようになり、個人LINEでつながったり、一緒に食事やお酒を楽しむ仲間になった方もいます。

そのおかげで、市民の皆様の声や想いを直接聞かせていただける機会が少しずつ増えてきました。

私が大好きな言葉に、イチロー選手の

「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」という言葉があります。

230時間という数字も、一回一回の辻立ちや駅立ち、そして一つ一つのご挨拶の積み重ねです。

私一人にできることは小さいかもしれませんが、それでも、

毎日コツコツ続けることで見えてくる景色がある。

毎日コツコツ続けることで生まれる信頼がある。

そう信じています。

これからも、一人でも多くの方の声を聞かせていただけるよう、街頭に立ち続けます。街頭で見かけた際は、ぜひお気軽にお声がけください。

市政や地域についてのご意見も、ぜひお聞かせいただけたら嬉しいです。

小野孝太郎 (おのこうたろう) の笠間愛

2023年11月に笠間へ移住してから、約2年間で日本全国から友人約150人が笠間に遊びに来てくれました。友人を案内するたびに笠間の魅力を調べ、歩き、訪ねる中で、私自身が笠間のことをどんどん好きになっていきました。以下の写真は、すべて私が撮影した笠間の風景のごく一部です。こんなに美しい場所を創り、守り、育ててくださった笠間の皆様に、心から感謝しています。

皆様のおすすめスポットや地元のお店も、ぜひ教えてください★



移住直後に初めてジョギングで行った自宅から2.5kmほどの北山公園。ちょうど紅葉が最高の時期で感動しました。



←のジョギング後自宅近くにある「高房神社」で手を合わせた後振り向いたらこの神々しい光景が広がっていました。



つつじ公園のつつじ祭。2024年だけで5回、笠間に来てくれた友人達を連れて行きました。



筑波海軍航空隊記念館。この国を守って下さった先人のおかげで今、我々が生きていることを決して忘れてはなりません。



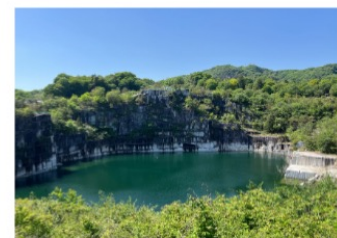
私が笠間の中でも一番大好きな場所の一つ。稲田御坊・西念寺。心を整えたい時に一人で訪れています。



藤の花が満開の笠間稲荷神社。もう数え切れないほど訪れました。



合気道の聖地・合気神社。世界中から合気道の愛好家が集まる場所。すごいエネルギーを感じる大好きな場所の一つです。



石切山脈も観光には欠かせない場所の一つ。大好きな映画「はたらく細胞」のロケ地にもなっていたことを知った時は感動しました。



涸沼川の千本桜。初めてここを訪れたのは冬でした。春になったらすごい景色になるはず！と思って訪れた時にこの写真を撮りました。

小野孝太郎 (おのこうたろう) の基本政策

①つながりが生まれる笠間

人と人とのつながりは、安心して暮らせるまちの土台です。あいさつや対話が自然に生まれる場を増やし、世代や立場を超えて支え合える関係を育てていきます。

孤立する人を生まない、温かいコミュニティをつくりたい。

「ここにいてよかった」と感じられる笠間を目指します。

②心と体が元気な笠間

健康は、人生を豊かに生きるための基盤です。

体の健康だけでなく、心の元気も大切に、気軽に相談できる環境や人とのつながりを広げていきます。

日常の中で無理なく続けられる健康づくりを応援し、誰もが安心して笑顔で暮らせる笠間を目指します。

③この街を愛する心が育つ笠間

この街を大切に思う心が、未来をつくります。

子どもから大人まで地域に関わる機会を増やし、笠間の魅力や文化に誇りを持てる学びを広げていきます。

「誰かのために一歩踏み出せる人」が増えることで、次世代が誇れる笠間を共に創っていきます。

なぜ参政党なのか？

私が参政党の一員として活動する道を選んだ理由は、参政党が「一人一人が学び、考え、行動する」ことを大切にしている政党だからです。

この国や地域をつくるのは、政治家だけではありません。

私たち一人一人の市民が、自分たちの暮らしや地域の未来に関心を持ち、学び、考え、できることから行動していく。その積み重ねが、より良い社会をつくる力になると信じています。

参政党は、企業や団体からの献金を受け付けず、理念に共感した国民の寄付やボランティアの力によって成長してきた政党です。

私は、今を生きる大人が学び、考え、行動し続ける姿を子どもたちに見せることこそ、子どもたちへの最大の教育になると考えています。

だから私は、参政党の理念に共感し、その一員として活動する道を選びました。



参政党

はHP/SNSで

さまざまな情報を発信しています。

